

鶴岡高専だより

144

2007・6



平成19年度学級対抗校内体育大会(5月23日)

目次

入学式式辞	2	専攻科新入生	16
後援会長挨拶	4	編入学生	16
次代を担う若者に望むこと	5	AEDが設置されました	17
意欲ある学生は専攻科を目指せ!	6	高専祭に向けての抱負	18
すばらしい寮生活	7	学生会長あいさつ	18
図書館だより「東雲」	8	科研費(奨励研究)採択研究紹介	19
平成18年度学内表彰者・資格取得者一覧	9	山形県高等学校総合体育大会夏季大会並びに 平成19年度学級対抗校内体育大会の結果	19
新入生・編入生 一人一言		OB紹介	20
機械工学科新入生	10	在外研究報告	21
電気電子工学科新入生	11	離着任者挨拶	22
制御情報工学科新入生	14	インフォメーション	24
物質工学科新入生	15		

発行 平成19年6月 鶴岡工業高等専門学校広報委員会 〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田104

本校ホームページ <http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/> では、「鶴岡高専通信-保護者の皆様へ」として、毎月タイムリーな情報をお届けしております。

入学式式辞

本日ここに、新入学生の保護者のみなさまのご臨席を賜り、平成19年度鶴岡工業高等専門学校本科および専攻科入学式を挙行できますことは、本校在校生および私たち教職員一同にとりまして無上の喜びとするところでございます。

本科および専攻科にご入学されました皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。本日、3年次および4年次への編入学者13名を含めまして、本科173名、専攻科18名、合計191名が本校に入学致しました。この中には海外からの留学生3名も含まれております。

鶴岡高専は皆さんのご入学を心から祝福し、歓迎致します。加えて、保護者のみなさまには心からお慶び申し上げますとともに、本校を進学先に選ばれ、長年にわたり、愛情深く、大切にご養育されましたご子息、ご令嬢を私たちにお預け下さいましたことに心から厚くお礼申し上げます。お預かり致しましたからには、私たち教職員一同、みなさまのご子息、ご令嬢の教育に誠心誠意努力することをここに約束申し上げます。

在の物質工学科の前進であります工業化学科、機械工学科の改組による制御情報工学科、一般科目を担当する総合科学科が逐次新設され、現在の5学科体制になりました。平成15年4月には機械電気システム工学専攻と物質工学専攻の二つの専攻からなります専攻科が設置されました。さらに、平成16年4月には本校をはじめ、全国55の国立高専が一つの独立行政法人になり、現在に至っております。このように、皆さんの鶴岡高専には40有余年の長く、輝かしい歴史がございます。



入学生代表宣誓

次に、本校における教育について簡単にお話致します。本科においては、一般科目と専門科目がそれぞれくさび型、逆くさび型に配置されて、5年間の一貫教育により、効果的かつ効率的な専門教育が行われております。本科の卒業生には、数多くの公的機関や会社などから数多くの求人がきております。また、専攻科進学あるいは他大学の3年次編入学の道も開かれております。専攻科においては、5年間の本科教育の上に、さらに2年間のより高度な技術教育および研究が行われております。その卒業生は、他大学の大学院修士課程への進学も可能でございます。また、皆さんのような成長期の若者に必要な、健康な心や体、豊かな人間関係、社会生活における規範やルールへの適応性などを養うために、課外活動としてスポーツや文化関係のクラブ活動が強く薦められております。



学校長挨拶

本校は、産業界からの強い要望に応え、即戦力になりうる実践的技術者を育成する国立工業高等専門学校の一つとして、昭和38年1月に鶴岡市への設置が決定され、同年4月に機械工学科と電気工学科の2学科について学生の受け入れを開始致しました。その後、現

本校におきましては、教室や研究室、あるいは実験室において先生から受ける受動的な教育に加えまして、創設以来40有余年の長きにわたり校訓として掲げております「自学自習」にもとづく能動的な教育を行っております。この校訓は、皆さんが自らの意志で、積極的に学び、習い、そして考えることを要請しております。このような受動的な教育と能動的な自学自習を併せて実行することが本校の教育方針でございます。

このような優れた教育方針の成果と致しまして、本校には40有余年の長い歴史と輝かしい伝統に加えて、数多くの優れた人材を社会に送り出してきたという誇るべき、素晴らしい実績がございます。本校を卒業され、母校鶴岡高専の教授や准教授、あるいは技術専門職員として活躍されている先輩は数多くございます。また、多くの公的機関や会社で偉くなられ、活躍されている先輩も数多くございます。さらには、高専独自の体育大会、ロボットコンテスト、プログラミングコンテスト、デザインコンペティション、などの東北地区大会や全国大会においても、皆さんの先輩たちは多くの優れた成績を残しております。厳しい入学試験を乗り越えて、本校に入学されました若い皆さんには無限の可能性が 있습니다。また、天賦の優れた才能と実力が 있습니다。皆さんが、その可能性を信じ、自分の持てる才能と実力を活かし、このような数多くの優れた先輩たちに負けない活躍をされることを、私たち教職員一同は心から希望し、期待致しております。



編入学生代表宣誓

本科および専攻科にご入学の皆さん、鶴岡高専は皆さんの若くて熱い夢を育むところでございます。皆さんは将来への大きな夢を胸に秘めて、本校に入学されたことと思います。本校において大きな夢を描いて下さい。そ

して、その夢を育み、実現するために、皆さんは日々これ勉学に努め、研さんし、自らの生き方を模索しつつ、豊かな人間性と優れた創造性を身に付けていただきたい。同時に、皆さんを取り巻く社会にも目を向け、関心を持っていただきたい。日本の現状、世界の現状に目を向け、関心を持つことも忘れないでいただきたい。皆さんは、これから科学技術について学び、深く関わっていくこととなりますが、この科学技術は人間の日々の生活を楽に、そして豊かにするという大きなメリットと、一つまちがえば世界の平和・安寧をおびやかす、人類の幸福・繁栄を破壊してしまうという大きなデメリットを合わせ持っております。皆さんは、この事実を心のどこかにとどめおいて、時折思い出していただいて、自らの夢の実現に向けて、これからの日々の勉学に努めていただきたい。



専攻科入学生代表宣誓

皆さんの大きな夢の実現をお手伝いすべく、私たち教職員一同は、教育研究活動とサービスの向上に誠心誠意努力する所存でございます。皆さんは、私たち教職員を心から信頼していただいて、豊かな自然に恵まれ、歴史と文化の香り高い、この鶴岡の地にあります、皆さんの鶴岡高専におきまして楽しく、生き生きと、心豊かに、有意義な学生生活を送っていただきたいと心から希望し、期待致しております。

以上をもちまして、校長式辞と致します。

平成19年4月8日

鶴岡工業高等専門学校長

横山 正明

後援会長挨拶

学生活動を支援する後援会として



後援会長 秋葉 弘毅

平成19年度、鶴岡工業高等専門学校に入学されました学生の皆さん及び保護者の皆様に、ご入学に際し、衷心よりお慶びを申し上げます。

また、鶴岡工業高等専門学校後援会に対しましてその趣旨をご理解いただきご入会をいただきましたことに、深甚なる感謝とお礼を申し上げます。

鶴岡工業高等専門学校では、学校創立以来、今年の3月に第40回目の卒業生が送り出されました。この間、高専は、専攻科設置、独立行政法人化、さらにはJABEE認定と大きく変貌しつつ、今まで以上に独自性と特色を発揮され、地域に欠かせない高等教育機関として進化を続けられております。

後援会活動は、教育環境の向上に資することはもとより、学生生活への支援活動に重点を置き、学校側との緊密な連携と協議のもと、皆様から十分にご理解をいただけるよう努めて参ります。特に、各種資格試験の受験について積極的な取り組みがなされており、学生が自らの可能性に挑戦できる環境づくりに支援しております。高専生は、時代の担い手となり、地域社会に貢献し、企業が即戦力として活躍することを期待されております。このため、後援会では、学生がより高い知識と技術の習得が可能となるような支援体制についても継続して検

討しております。また、教育活動に多くの効果を期待される課外活動におきましても、積極的に取り組まれている学生が多く、文武二道を極められるような環境づくりを支援するとともに、財政的な負担軽減につながるよう努めて参ります。部活動・クラブ活動は、高専が地域に果たす役割の一助ともなるものと考えており、その活動を支援していきます。

高専は、16歳から20歳までの学生と一緒に学ぶという近隣に例を見ない特徴的な環境にあり、県内外の多くの友人に恵まれ大変すばらしい学生生活を送ることができます。保護者の皆さんにおかれましては、常にお子さんとの対話に努められ、高専のすべてに興味をお持ちいただききたいと思っております。このことが、お子さんが有意義な学生生活を送り、進路等を判断する際の大きな力となります。

最後に、毎年各地で開催されます保護者会につきまして、積極的にご参加をいただき、ご意見やご要望をお聞かせください。保護者の皆様からのご意見等を今後の後援会活動に反映させ、より良い環境づくりに努めて参りますので、保護者の皆様からより一層のご支援をお願いいたします。

平成19年度後援会

◎役員名簿

会 長	秋葉 弘毅 (5M)			
副 会 長	佐藤 清一 (5M)	佐藤 三喜雄 (5M)	原田 昌彦 (4B)	
理 事	今野 修 (5E)	五十嵐 一孝 (5I)	金山 雅一 (5B)	渡部 恵美 (4I)
	佐藤 幸一 (3M)	佐藤 淑子 (3E)	白幡 美枝 (3I)	蛸井 博人 (3B)
	今野 広美 (2M)	中村 祐子 (2E)	落合 孝 (2I)	阿部 寛 (2B)
	星川 英樹 (1M)	伊藤 康 (1E)	田村 喬 (1I)	佐藤 徹 (1B)
監 事	菅原しげり (5I)	菅原二三男 (4M)	叶野 仁 (4E)	

◎地区別保護者会会長

鶴岡・田川 原田 昌彦 (4B)	酒田・飽海 後藤 保喜 (4I)	新庄・最上 箱山 薫 (4M)
山形・村山 奥山 政昭 (5B)	置 賜 土屋 信一 (5B)	新 潟 斎藤 良茂 (4I)

(M—機械工学科、E—電気(電子)工学科、I—制御情報工学科、B—物質工学科)

(敬称略)



次代を担う若者に望むこと

学生主事 岡崎 幹郎

1. 自己紹介

今年度から学生主事になりました。よろしくお願いします。専門は宇宙物理学(天体物理)で、本校には1971年に赴任し、現在、総合科学科(物理学教室)に所属しています。以前、寮生の生活指導と学寮運営を担当する寮務主事をしていました。この度、学生の福利厚生および生活指導等を総括する、学生主事に就くにあたり、その責任の重さを厳粛に受けとめ、任にあたりたいと考えています。

高校時代は工業の建築科で勉強をした変わり者ですが、小さい頃から数学(算数)・スポーツ・音楽好きのガキ大将で、人間集団や人間心理といったものにも関心がありました。その延長線上に教員という職業があったと自分では思っています。本校では、担任の他に、バスケットボール部の顧問、また水泳部・天文部の顧問も経験してきました。

2. 社会が若者に望むもの

今年度の本校の就職状況は、5月末現在で就職希望者の半数の内々定が決まっています。求人倍率は約20倍、つまり就職希望者1名当たり20社がアプローチしています。この高い求人倍率は、本校教育に対する高い評価であると同時に、本校卒業生の社会での優れた実績の証でもあります。ところで、社会・企業はどのような人を求めているのでしょうか。次代を担う若者に対して、社会が望む共通の人間像と考えられる主なものを、以下にまとめました。

- 学生諸君は読んで咀嚼し、実行に移して下さい。
- (1) 挨拶がきちんとできる人
挨拶は人間関係および仕事の基本です。これらは、普段から心掛けることで身につきます。
- (2) 協調性のある人
一緒に気持ちよく仕事ができる人が望まれます。仕事は一人ではできません。
- (3) 思いやりのある人
いろんな立場にいる相手を理解し、個性を認める。これも良い人間関係を築く基本です。
- (4) 正しい倫理観と責任感のある人
社会・組織の規範・規律を守り、間違ったことはしない。社会的責任を自覚した行動をとることが肝腎。
- (5) 他人に不快感を与えない人

服装等の外見だけでなく、日頃の言動も。自分の立場を理解した言動が大切。

- (6) 物事に積極的に取り組む人
何事に対しても前向きに取り組む。失敗があっても挫けずに前進する力が望まれる。

3. 文武両道で充実した学生生活を

本校は技術系の高専です。学生諸君には、校訓の「自学自習」・「理魂工才」に則り、専門知識の獲得能力を身につけることが第一番目に求められます。知識獲得能力は、単なる知識の詰め込みではなく、学習意欲の高揚、目的意識の確立、自学自習といった積極的な能力です。さらに、幅広い豊かな教養を身につけるには、様々な分野の読書も必要です。

高専の特徴は、心身ともに最も成長の著しい10代後半の多感な学生集団を抱えていることです。したがって、課外活動は、単に身体の鍛錬や技術の錬磨の為のみならず、学年の枠を超えた集団生活を通して、自主、規律、忍耐、協調、友情、責任等の人格形成を図る上で、正課活動と並ぶ重要な教育活動の一つと位置づけられています。

学生諸君は、しっかりとした目標と目的を持って、正課学習活動(文)とクラブ活動<運動部や文化部等>・ロボコンやボランティアなどの課外活動(武)のバランスのとれた「文武両道」を図り、充実した学生生活を送ることを期待します。

ところで、自分自身を知る上で良い友人を持つことは大切です。そのためには自分自身を高め、互いに相手を理解する努力と感性が求められます。一生の宝になる良き友人を、高専時代に得て下さい。

4. オンリーワン

最後に、現代の世相は厳しい競争社会、難しい時代とされています。しかし、いつの時代も人間はたくましく生きてきました。常に感謝の心を持ち、焦らず堅実に人生を歩んで下さい。また、一人一人それぞれ咲かせるべき花を持っています。社会人に必要な「強く生きる力・術」と「規範」を本校で身につけて巣立ち、社会に貢献をし、また自分の花を見事に咲かせることを期待します。

意欲ある学生は 専攻科を目指せ!



専攻科長 宮崎 孝雄

1. 専攻科とは

本校の専攻科は平成15年4月に開設され、平成19年3月に第3回の修了生を輩出した若い学科です。専攻科設立の目的は、従来の5年間の本科教育の上にさらに2年間専門知識を深め、特に研究能力に優れた高専修了者を育成しようとするものです。私は、さらに専攻科は高専生のエリート養成学科になるべきであると考えています。

専攻科修了学生が企業で活躍したり東大や東工大などのトップ大学院に進学して研究分野でも活躍の路を切り開くことにより、専攻科修了生の能力と存在感を社会に認識させることができます。このことがひいては高専全体の存在価値を高めてゆくと考えます。このようなことは夢物語ではありません。

本校で成績上位の学生であれば、トップ大学院に進む能力は十分あります。実際、上記の大学院に毎年10名以上進学させている他高専専攻科の例もあります。

2. 大学と比較した専攻科の長所

ここで、専攻科について実務的な話をします。

専攻科の授業料は本科と同じで大学に編入した場合の約半分で済みます(専攻科23.5万円/年、大学53.6万円/年)。専攻科修了生は、年齢的にも知識・技術の水準としても大学工学部卒と同等となるために学士(工学)の学位が取得できます。学士の学位取得に際しては、大学評価・学位授与機構による外部審査(論文審査と筆記試験)を受けて合格する必要がありますが、この試験は難しいものではなく本校の本科出身の専攻科生はこれまで全員が学士の学位を取得しています。

就職に関しては、大学生と同様に自由応募を希望することもできますが、学校の推薦制度を利用することも可能です。したがって、通常の大学生よりも優れた就職斡旋サービスを受けることが可能です。

3. 専攻科進学か大学3年に編入進学か

本校の専攻科に対する認識は徐々に深まって来ていますが、私の理想にはまだ遠いものがあります。残念ながら本校の上位成績者の多くは、大学3年に進学して

います。しかし、大学編入が高専学生にとって本当にベストの選択であるのかよく考えてみる必要があります。以下に、大学編入した場合との比較検討課題をいくつか示しますので参考にしてください。

・技科大以外の一般大学に編入した場合、本校で学んだ科目が認定されず同様の科目を再履修させられる場合があります。そのため、3年編入時の学業がとてども忙しくなります。

・大学の方がより高度の勉強や研究ができるとは限りません。勉強や研究成果は本人がどれだけ汗をかいたかに比例します。勉強の内容・レベルは高専専攻科と大学で大差ありません。

・高専専攻科では持てる才能が活かされないのではとの心配も無用です。高専専攻科では大学よりも才能を引き出そうという教育を一生懸命に行っています。このような環境で才能が無駄になることはあり得ません。必ず、企業や大学院でその花が開きます。

・大学卒で就職する場合、編入した3年時の年明けから就職活動が始まります。大学では自由応募で自己責任になりますので大変な労力が必要です。

他方、現実の社会では指導的エンジニアは大学院修了が前提となっています。大学に編入した高専生も多くは大学院に進学するでしょう。その場合、最終的に競争の場となるのは大学院です。

その時、高い学費と余分な労力をかけた大学編入と専攻科修了から高専枠を利用した大学院進学のとどちらが総合的に有利だろうか?

4. 専攻科の発展に向けて

意欲と気概をもった学生に集まってもらうことが基本です。そのために、専攻科の教育・研究活動を活性化して有能な学生を引き付ける必要があります。

その第一歩として、専攻科の教育研究に努力をされている先生に対して教育研究費を大幅に増やすことを進めています。その他、カリキュラムの改善も検討しています。他方、学生諸君も“自分たちが専攻科の良き伝統を作る”といった意気込みをもって専攻科に進学して欲しいと思います。意欲ある学生よ、専攻科に来たれ!

すばらしい寮生活



寮生会長 4M 元木 拓也

私たちが生活している鶴鳴寮は寮生にとって最適の環境であると言えます。しかし、これは何もかもが自由であるということではありません。鶴鳴寮は教育寮であり、寮生は『明・厳・美』という寮訓に沿って毎日の生活を送っています。各寮生が個々に寮生という名の家族の一員であることを自覚して生活することによって、とても有意義な時間を多くの友と共有することができます。また、学年、学科の壁を越え多くの人とのふれ合いの中で知識や友人の輪が広がる等の鶴鳴寮以外では味わうことのできない貴重な体験をすることができます。

鶴鳴寮には、寮生によって企画・運営される楽しい行事が多くあります。ここではその中からいくつかを紹介したいと思います。なお、詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/zoom/ryou.html>

清掃ボランティア

毎年4月に町内会の皆さんと協力して学校周辺のゴミ拾いをします。日曜日の早朝の行事ですが、今年は200名以上の参加申し込みがありました。残念ながら今年は降雨のため中止になりましたが、寮生のボランティア精神の強さを感じました。



みんなで楽しく清掃ボランティア (2006.5)

暁登山

毎年5月に寮生が未明から早朝にかけて金峰山に登り、皆で素晴らしい朝日を拝みます。登山は大変ですが山頂で見る朝日はとても美しく、一度見たら忘れることはないでしょう、と聞いていますが4年連続して雨で中止になりました。

避難訓練

年に2回、早朝のサイレンで目覚めます。放送に従い、救護班、誘導班、本部等それぞれの仕事や、避難経路を確認して、万が一の場合に備えます。



寮毎にまとまって避難 (2007.5)

寮祭

毎年9月に行なわれる寮最大の行事です。各部やフロア毎に模擬店を出し、寮生はもちろん通学生や先生方、そして地域の方々も大勢来て楽しんでくれます。ステージでは寮生会を中心に様々な企画が行なわれ、毎年、大盛況です。



だれでも楽しめる寮祭 (2006.9)

寮生体育大会

毎年12月に体育館で行われます。チームは学年に関係なく、学科毎に編成されます。普段、話したことの無い人たちとスポーツをすることで、学年の壁をこえた友好の輪が広がります。



図書館だより No.36

図書館長
小谷 卓



図書館を散策してください

今年度より図書館長になりました物質工学科の小谷です。過去に図書委員をしたことがあり、少しは図書館について分かっているつもりです。まずは学生さんのご来館とご利用を心よりお待ちしております。

図書館は利用してこそ価値が生まれるものであり本も飾り放しでは何の役にも立ちません。学生、教職員、市民の方々等多くの利用があって本が読まれることによって図書館の機能が発揮されていると言えるのだと思います。

図書館の利用は読書をしている人だけではなく、新聞・週刊誌を見ている人、レポートを書いている人、調べ物をしている人、本を探している人等々人さまざま様です。利用している人の姿の中に共通しているものがいくつかあります。「騒いでいる人はいない」、「必死に活字と向きあっている」、「何か情報・知識を得ようとしている」等です。そうです図書館は静かに勉強できる場所なのです。

「図書館に行けば勉強できる」これが、私が高校時代に市立図書館を利用するようになったきっかけでした。もう一つ、大学時代、私は工学部の図書館を殆ど毎日の

ように利用いたしました。もちろん冷房が利いていて涼しいからということもありましたが、レポート作成やどんな本があるのかなど、毎日通っているうちに図書館のどこの書架にどんな本があるのかがすべて分かるところまでになっていました。ですから、必要なときに必要な情報をすぐに図書館から引き出せる。これはまさに図書館利用の醍醐味です。

私から、学生さんへの提案です「図書館を散策してください」どこにどんな本があるのか、探してみてください。いろんな本がありますよ。きっといろいろな発見に出会えると思います。珍しい本があったら手にとって読んでください。興味が湧いたら借りて読破してください。まさに図書館は「情報のパラダイス」です。図書館を散策して様々な情報を収集してください。

過去に、本校学生の図書館利用率が全国1・2を争う時代があって、「図書館利用率の高い鶴岡高专」として全国の模範であったことがあります。近年再び読書の重要性が叫ばれておりますが、文献調べに、読書に、レポート作成にと積極的に図書館を利用し活字にふれることにより、皆さん自身がレポート作成時に、誤字、当て字、新造語の類が少なくなる事だけは保証します。大いに図書館を利用して教養を高めて下さい。

今年度の学生図書委員名と平成18年度の図書ベスト10、そして開館日と閉館日をお知らせします。

学生図書委員皆さんの活躍を期待しております。

平成19年度学生図書委員名簿

年	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	物質工学科
1	荒木 悠志	押切 舞	村岡 勝紀	本間 充瑠
2	奥泉 暢之	土門 豊	本間 彰	石川 雅俊
3	松本 朋之	設楽 堅	高橋 敦夫	村田 健太
4	石橋 雄大	加藤 亮	佐藤 祐典	佐々木麻衣子
5	瀧口 彰	大沼 勇二	齋藤 拓也	富樫 直之

平成18年度 図書ベスト10

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 銃とチョコレート | 6. 死にぞこないの青 |
| 2. クビキリサイクル: | 7. 容疑者Xの献身 |
| 3. 博士の愛した数式 | 8. 夜のピクニック |
| 4. ダ・ヴィンチ・コード | 9. 灰色のピーターパン |
| 5. ハリー・ポッターと謎のプリンス | 10. 空は今日も青いか? |

【開館日と閉館】

開館日：平日 8時半～20時
土曜日 9時～17時
閉館日：日曜日、祝祭日、休業期間、
学校行事日
空調設備も整っています。

平成18年度学内表彰者・資格取得者一覧(クラス()内は平成19年度のもの、氏名太字は卒業式で表彰)

優秀賞	城戸弘明(M卒)、青澤裕生(E卒)、白幡佳樹(I卒)、井上美知代(B卒)、上野菜穂子(4M)、大滝欣也(4M)、笠原太郎(4M)、齋藤圭佑(4M)、遠藤健太郎(4E)、大矢純平(4E)、相庭卓(4I)、長岡亮(4I)、皆川歩(4I)、石塚竹生(4B)、蛸井俊宏(4B)、富樫拓也(4B)
皆勤賞	佐藤進吾(M卒)、新田裕士(E卒)、五十嵐元(I卒)、大谷優子(I卒)、上林裕輔(I卒)、那須芳則(I卒)、井上美知代(B卒)、金内温子(B卒)、原田龍太(B卒)、青澤祐也(4M)、石井智久(4M)、上野菜穂子(4M)、大滝欣也(4M)、小野駿介(4M)、小池飛鳥(4M)、齋藤圭佑(4M)、齋藤岳広(4M)、鈴木寿紀(4M)、高階悠貴(4M)、檀上隆一(4M)、箱山亮(4M)、本間翔太(4M)、元木拓也(4M)、木野祐介(4E)、金拓弥(4E)、芝山慎一(4E)、鈴木祐貴(4E)、高橋一樹(4E)、高橋聡(4E)、相庭卓(4I)、伊藤馨(4I)、上野美郷(4I)、後藤拓喜(4I)、齋藤彬(4I)、佐藤真人(4I)、佐藤祐典(4I)、鈴木亮(4I)、阿部彩織(4B)、荒生勝也(4B)、成澤友里(4B)、廣井千明(4B)
精勤賞	城戸弘明(M卒)、後藤亮(M卒)、佐竹孝昭(M卒)、佐藤奨(M卒)、佐藤良(M卒)、中野義章(M卒)、中村和人(M卒)、早坂力(M卒)、三浦泰(M卒)、青澤裕生(E卒)、石田玄(E卒)、太田拓実(E卒)、岡部奨(E卒)、齋藤琢(E卒)、佐藤恭介(E卒)、高橋拓哉(E卒)、近井学(E卒)、丸山哲(E卒)、安達誠啓(I卒)、井澤純平(I卒)、尾形文也(I卒)、門脇義康(I卒)、菅野貴文(I卒)、今田英孝(I卒)、本間啓吾(I卒)、池田恒史(B卒)、池田佑介(B卒)、池田亮(B卒)、小鷹浩一(B卒)、鈴木貫(B卒)、五十嵐将斗(4M)、池田達朗(4M)、石橋雄大(4M)、榎本竜登(4M)、大江亮(4M)、草島竜司(4M)、坂本俊平(4M)、佐藤郁(4M)、佐藤健夫(4M)、佐藤将之(4M)、土岐昭寛(4M)、成沢翔平(4M)、三浦拓(4M)、阿部宏哉(4E)、石山謙(4E)、今井太一(4E)、遠田和広(4E)、遠藤健太郎(4E)、大島千悟(4E)、叶野潤(4E)、小久保希(4E)、佐々木雅人(4E)、佐藤翔(4E)、佐藤星(4E)、佐藤智也(4E)、佐藤陽太(4E)、渋谷昂之(4E)、鈴木隼人(4E)、竹内麻乃(4E)、武田亘(4E)、樋田恵佑(4E)、丸山晃弘(4E)、青澤 祐介(4I)、板垣成明(4I)、大場昌範(4I)、岡史門(4I)、亀田智祐(4I)、上林和真(4I)、小池崇弘(4I)、小松聖(4I)、齋藤秀人(4I)、佐藤隼也(4I)、鈴木剛(4I)、鈴木雅程(4I)、高橋孝平(4I)、忠鉢貴人(4I)、佃将人(4I)、土田直人(4I)、長岡亮(4I)、新野樹(4I)、皆川歩(4I)、村田彩輝斗(4I)、渡部正人(4I)、阿部奈美(4B)、石井秀人(4B)、大滝翔平(4B)、金子隆明(4B)、佐藤瑠璃(4B)、鈴木健之(4B)、蛸井俊宏(4B)、中川和音(4B)、成田武(4B)、原田富貴(4B)、本間大海(4B)、山田将士(4B)
平川賞	佐藤進吾(M卒)、近井学(E卒)、忠鉢洋輔(I卒)、後藤裕樹(B卒)
課外体育活動功労賞	忠鉢貴人(4I)
精励賞	(学業成績が著しく向上) 荒木利仁(4M)、五十嵐将斗(4M)
努力賞	(実用英検2級) 河野竜也(5I)、鈴木喬之(5I)、佐藤瑠璃(4B) (実用英検準2級) 江口裕也(5M)、大川貴久(5M)、阿部礼(5B)、大滝欣也(4M)、笠原太郎(4M)、齋藤圭佑(4M)、菅原大聖(4M)、船木輝(4M)、元木拓也(4M)、阿部宏哉(4E)、遠藤健太郎(4E)、小松聖(4I)、佐藤隼也(4I)、鈴木雅程(4I)、鈴木亮(4I)、土田直人(4I)、金子隆明(4B)、田中秀成(4B)、成澤友里(4B)、今野拓保(3E)、須貝柳太(3E)、名取一真(3E)、岡部芽実(3B)、高橋ゆかり(3B)、岡田拓己(2M) (工業英検3級) 阿部礼(5B)、阿部嵩也(5B)、木須一彰(5B)、福田光(5B) (甲種危険物取扱者) 池田恒史(B卒)、伊藤孝弥(5B)、大瀧友樹(5B)、加藤洗(5B)、金山雅人(5B)、本間俊将(5B) (乙種4類危険物取扱者) 阿部央(5M)、大島千悟(5E)、元木拓也(4M)、阿部彩織(4B)、小関美耶(4B)、佐藤瑠璃(4B)、阿部かおり(3B)、遠藤寛士(3B)、岡部芽実(3B)、岡部陽平(3B)、小林靖明(3B)、佐藤忍(3B)、佐藤真理菜(3B)、庄司萌梨絵(3B)、高橋ゆかり(3B)、吉田理奈(3B) (基本情報技術者) 五十嵐元(I卒)、大滝泰広(I卒)、上林裕輔(I卒)、佐々木章克(I卒)、河野竜也(5I)、齋藤拓也(5I)、高橋秀徳(5I) (初級システムアドミニストレータ) 熊田美沙(5I)、佐藤勇太(5I)、菅原ひろき(5I)、石沢裕(3I)、高橋志寛(3I) (ソフトウェア開発技術者) 今田英孝(I卒)、忠鉢洋輔(I卒)、新関真人(I卒)。
功績賞	(学生会役員として学生会の発展に貢献) 赤澤直哉(5M)、今野歩(5E)、太田奈津美(5I) (平成18年度パテントコンテストにおいて特許出願支援対象発明として選考) 三浦宗一郎(2M) (第4回龍谷大学青春俳句大賞入選) 今野拓保(3E)、長岡亮(4I) (第6回田捨女青春俳句祭優秀賞) 笹山美紀(2B) (学級委員活動) 尾形文也(I卒) (副学級委員活動) 井澤純平(I卒) (本校広報活動への貢献) 井上美知代(B卒) (課外活動部門) 陸上競技部: 大瀧健仁(E卒)、井澤純平(I卒)、富樫実(I卒)、町田好史(I卒)、豊裕樹(B卒) バスケットボール部: 佐々木勇人(M卒)、佐藤壮(M卒)、鈴木直樹(M卒)、岡部慎吾(E卒)、片見誠(E卒)、上林裕輔(I卒)、佐藤貴昭(I卒)、三瓶健吾(I卒)、那須芳則(I卒) バレーボール部: 佐藤互(M卒)、新関真人(I卒) 卓球部: 白幡裕樹(M卒) 柔道部: 大貫真司(I卒) 野球部: 阿部則山(M卒)、佐藤進吾(M卒)、丹野隆英(M卒)、堀井保洋(M卒)、佐藤恭介(E卒)、尾形文也(I卒)、田村大悟(I卒)、遠藤正道(B卒) 水泳部: 阿部美奈(B卒) 女子バレーボール部: 門脇佳世(B卒)、佐藤瑞穂(B卒)、長谷川霞(B卒) (全国高専体育大会部門) バレーボール競技男子第3位: 佐藤互(M卒)、新関真人(I卒)、長谷川霞(B卒)、佐藤哲則(5M)、安野達也(5E)、荒木啓介(5I)、高橋佑典(5I)、長谷部清介(5I)、叶野潤(4E)、五十嵐良平(4B)、佐々木亮太(4B)、佐藤匠(3E)、池田萩(3B) 水泳競技女子400mリレー第1位&女子100m平泳ぎ第2位&女子50mバタフライ第3位: 大瀧真優(3I) 水泳競技男子100m自由形第7位: 忠鉢貴人(4I) バドミントン競技女子ダブルス第2位: 舟腰磨結実(5I)、粕谷知里(4I)
資格取得者 (上記表彰者以外)	(CAD利用技術者2級) 大場寛文(専2) (第四級海上無線通信士) 上野菜穂子(4M) (実用英検2級) 石塚竹生(4B) (実用英検準2級) 池田達郎(4M)、小関美耶(4B)、阿波奈美(4B)、大沼知世(4B)、成田武(4B)、佐藤翔平(3I)、佐藤祐希(3I)、菅野孝司(3I)、富樫洗(3I)、長谷川陵(3I)、渡部倭茂(2E)、佐藤雄治(2I) (第二種電気工事士) 五十嵐勇介(5E)、池田拓馬(5E)、梅木昇(5E)、大沼勇二(5E)、佐藤健太郎(5E)、佐藤千宏(5E)、蛸井光(5E)、万年達也(5E)、今井貴弘(4E)、遠藤健太郎(4E) (初級システムアドミニストレータ) 富樫洗(3I)

(以上)

新入生 一人一言 機械工学科

秋山大樹

数学、理科、英語など、好きな人、ぜひ鶴高専に。

阿部健太

5年間留年せずに卒業できるように頑張ります。

荒木悠志

設備豊富なこの高専で5年間、頑張りたいです。

五十嵐弘一

自分を磨けるように、5年間がんばりたいです。

五十嵐洸人

勉強が大変なので、遅れないよう毎日努力する。

井澤理紀

将来の夢に向かってがんばっていきます。

石川潤

戸惑うことも多いが部活も勉強も頑張りたい。

伊藤猛晋

高専生としての学力をしっかりと身につける。

井上史弥

定期テストで60点以上は取れるように勉強する。

遠田高大

充実した毎日を送る為に学習、部活動共に頑張る。

岡島新吾

楽しく、充実した学校生活にしたいと思います。

小野大樹

今まで以上に部活を頑張り、試合に出たい。

工藤圭介

留年せずに卒業する予定(未定)です。

小関将太

まだ未熟者ですが、よろしくお願いします。

齋藤翼

授業に集中し、赤点をとらないように努力したい。

齋藤康浩

難しい高専の授業内容についていきたい。

佐藤岳

勉強や様々な活動に全力を出して取りくむ。

佐藤剣

皆と一緒に卒業できるように頑張ります。

澤野裕大

勉強と部活を自分の限界までがんばる。

柴田暁文

自分に厳しくし、授業にくらいついていきたい。

渋谷宗一郎

卒業に向け、部活、勉強ともに頑張りたいです。

進藤光貴

授業についていけるように精いっぱい努力します。

菅原竜太

授業に集中して、授業の内容についていきたい。

鈴木幸平

授業に集中し、ちゃんとついていけるようにする。

鈴木駿

将来のために、しっかり勉強したいと思います。

瀬尾優也

勉強と部活を両立させてがんばりたいと思います。

高橋晃平

勉強に力を入れて、高得点を目指す。

高橋優介

目標は単位を取るのではなく自分自身の向上。

忠鉢匠

日々の授業を大切にしていきたい。

中嶋元貴

各教科で後れを取らぬよう勉学にはげみたい。

仲野嵩史

勉強も部活動もついていけるように頑張りたい。

長谷川卓洋

精神と忍耐を鍛えたいと思います。

藤谷恭輔

鶴岡高専初の甲子園に出る。

星川涼介

自学自習を忘れず勉強、部活ともに頑張ります。

堀内信広

立派なエンジニアになるため勉強を頑張る。

牧野貴晃

今自分ができることを一生懸命頑張りたいです。

松平学幸

失敗を恐れず、何事にも挑戦していきたいです。

三浦直人

勉強と部活を両立し、5年でこの学校を卒業する。

峯田遼

文武両立を実現させ、充実した生活をする。

元木健

毎日かかさず自習して、自分を磨く。

新入生 一人一言 電気電子工学科

阿部 矩明

予習・復習をしっかりと堂々と卒業する。

五十嵐 凌

勉強についていけるように頑張る。

石塚 侑己

自学自習を常に心がけ、毎日少しずつ成長する!!

石山 優

後悔しない学校生活をおくりたいです。

板垣 圭

勉強についていけるように日々頑張りたい。

板垣 佑哉

人並以上に頑張ります。

伊藤 遼

しっかり勉強と部活についていけるようにする。

押切 舞

予習・復習をちゃんとやっていきたいと思う。

小野木 和貴

高専では、無理せず、ゆったり、マイペース。

加藤 和輝

勉強と部活、頑張る。

唐澤 拓海

勉強と部活について行けるよう頑張ります。

工藤 匠

部活と学習を共にがんばりたいです。

今野 陽介

勉強についていけるようにする。

佐々木 大蔵

学習中心に高専生活をしっかりと頑張る。

笹原 舞騎

部活をがんばっていい成績をのこす。

佐藤 和生

留年しないようにがんばる。勉強をがんばる。

佐藤 一誠

高専大会で全国を目指す。勉強を一生懸命頑張る。

佐藤 工介

学力向上を目指して頑張りたいです。

佐藤 貴也

勉強を日々努力して早く学校生活に慣れたい。

佐藤 駿行

交通事故に遭わないようにする。

佐藤 光

勉強をがんばる。

佐藤 郁也

部活頑張りたい!!

茂林 恭平

留年しないように頑張っていきたいです。

志田 健太郎

留年しないようにがんばる。

須貝 拓也

人間として高専生として大きく成長する。

鈴木 健人

高専生として恥ずかしくない生活をしたい。

相馬 達成

技術者として社会に貢献出来るよう学びたいです。

高橋 勇暉

時間をむだにせずしっかり勉強したいと思います。

田澤 範一

校舎をしっかりと把握して、生活になれたい。

那須 雄太

高専での生活を楽しめるようにする。

羽村 皐月

勉強がついていけるようにがんばる。

藤岡 成哉

文武両道でいけるようにがんばる。

堀 泰彰

一つ一つの物事に真剣に取り組んでいきたい。

本間 雅人

寮生活&部活&勉強をがんばる。

益田 瞭

早く高専の生活に慣れてがんばりたいと思います。

矢口 翔一

勉強と部活を両立できるように頑張りたいです。

山内 涼

無事に卒業する。

八幡 優佳

早く、高専の空気に慣れていきたいです。

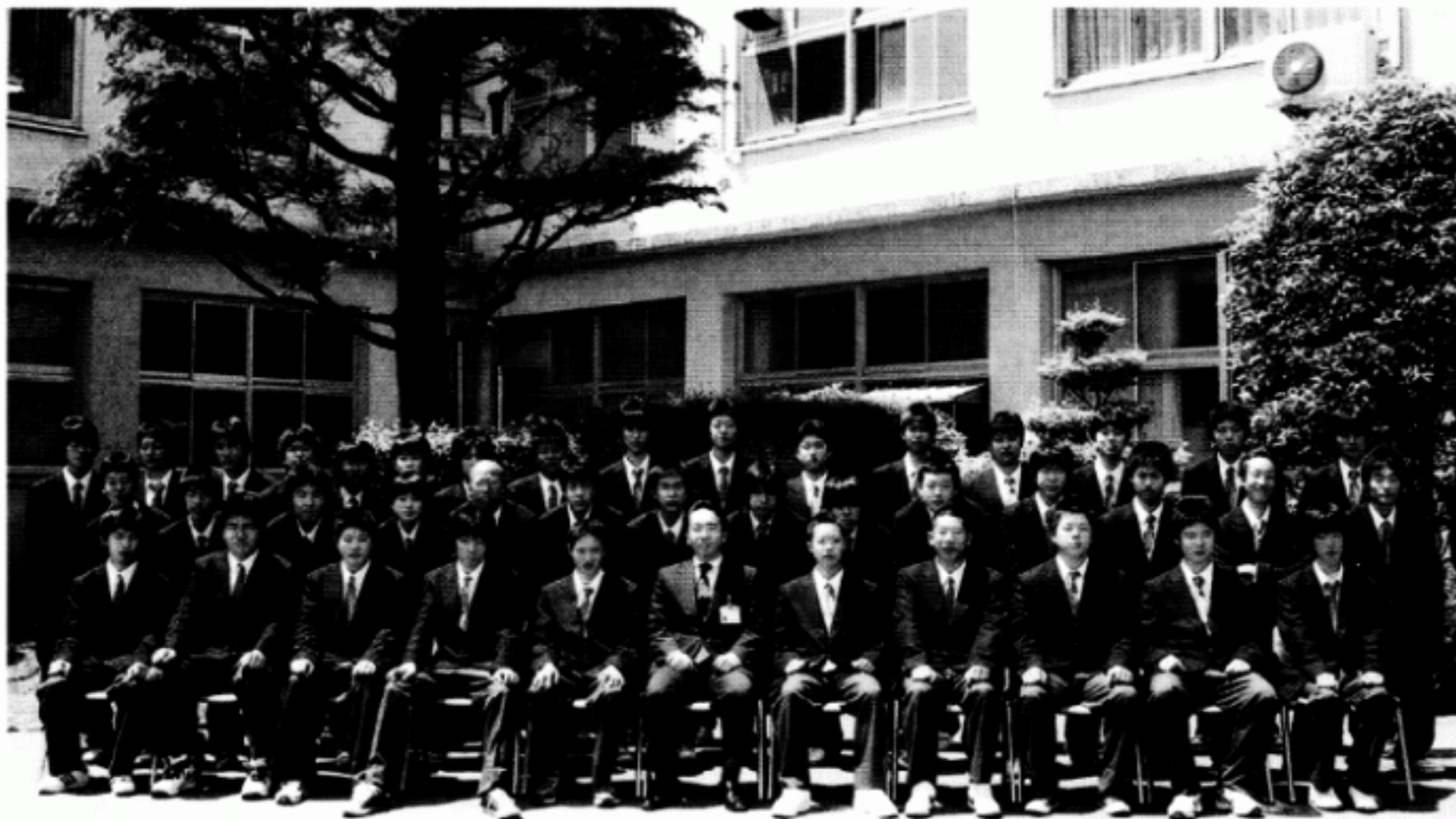
結城 亮平

文武両道を目指す。

渡邊 康太

がんばる。がんばれ。がんばろう!

機械工学科



新1年生です！

電気電子工学科



制御情報工学科



目指すは文武両道!!

物質工学科



新入生 一人一言 制御情報工学科

青柳 卓

留年しないように、勉強がんばります!

浅井 啓輝

欠席せずに、勉強も部活もがんばりたい。

安達 友紀

ちゃんとがんばって勉強していきたいと思います。

阿部 晃大

部活を全力で頑張る。そして結果を残す。

荒井 寛史

面白い先生たちと一緒に、勉強をがんばりたいです。

石川 大和

早く高専生活に慣れ、勉強などをがんばりたい。

石塚 万智

早く学校生活に慣れるようにしたいです。

伊藤 真也

授業にしっかりついていけるように頑張ります。

伊藤 大介

授業は難しいけれど、ちゃんと頑張りたいです。

榎本 一駿

高専生活を大切に、身体も心も大きく成長したい。

遠藤 海

高専の勉強についていけるようがんばります。

遠藤 陽介

勉強と部活をがんばりたいです。

遠藤 亘

いろいろと変わった学校ですが、がんばりたいです。

小笠原 雄大

後悔の無い充実したキャンパスライフをおくる。

小野寺 貢大

勉強・部活ともに、がんばります。

加藤 大資

勉強や部活を両立させて、一生懸命頑張ります。

木村 慎太郎

高専生としてふさわしいように頑張りたいです。

工藤 未輝

1日1日成長できるように頑張ります。

工藤 克巳

高専生活が楽しくなるように頑張ります。

工藤 貴大

先生や先輩の言うことを聞いて、頑張ります。

小池 郁

部活も勉強も楽しく頑張りたいと思います。

後藤 萌

勉強・部活共に、努力することを心掛けたいです。

齋藤 太貴

5年間、すべての単位をとります。

齋藤 孝紀

本校は広いと思った。

齋藤 猛

一つ一つの授業を大切にしたい。

齋藤 優衣

高専での生活に慣れて、充実した生活を送りたい。

齋藤 悠

憧れだった高専に入ることができてうれしいです。

齋藤 諒介

卓球、一生懸命がんばります。(勉強も)

柴田 あかね

勉強など難しく大変ですが、がんばりたいです。

進藤 絵里

今後は、積極的に勉学に励みたいと思います。

鈴木 智貴

新しい環境でも、メシの大切さを忘れないように。

高橋 歌穂

自学自習に励み、充実した高専生活を送りたい。

高橋 悠希

温故知新!

嶽本 紘史

部活と勉強を両立させて、がんばっていききたいです。

田村 和輝

夢、ロボコンがんばります!! (勉強も)

廣井 絵美

先輩方を見習い、勉強に励みたいと思います。

御船 雄太

勉強はもちろん、部活にも力を入れていきたい。

村岡 勝紀

ここで、自分は自分の夢をかなえてみせる。

山口 沙綺

勉強を頑張りたい。

山本 克也

高専生としての自覚を持ち、勉学に励みたい。

新入生 一人一言 物質工学科

会田 翔

勉強が好きになれるように努力したいと思います。

阿部 早紀

勉強についていくため、毎日復習する!

阿部 紘也

勉強と部活を両立できるようにがんばります。

阿部 博弥

部活と勉強を両立し、最高の高専生活を送る!

阿部 諒平

早く寮生活に慣れ、部活も精一杯頑張ります。

五十嵐 尚人

留年をしないようにがんばります。

猪川 巧

部活をがんばって、毎日楽しく過ごしたいです。

石川 聡太

自分に負けないで限界にチャレンジする。

石川 大樹

自分の事は自分でし、充実した寮生活を送る。

石塚 啓介

充実した生活を送っていききたいと思います。

石橋 佳国

勉強・野球。とにかく何でもがんばりたい。

伊藤 夏希

1Bは皆元気で楽しいです。勉強も頑張ります。

伊東 慶彦

高専生活に慣れながら頑張りたいです。

薄井 拓磨

高専での生活を精いっぱい楽しんで頑張ります。

遠藤 壮

野球部で一生懸命練習し、強豪校を倒したい。

遠藤 直道

勉強とラグビー部の両立を目指してがんばりたい。

及川 明香

勉強を怠らず、部活にも積極的になります。

大津 侑

勉強も部活も怠けず、なんにでも立向かう!

加藤 廉

留年せずに頑張る。

小内 将弘

勉学、部活でもくじけぬ屈強の心を身に付ける。

小関 恭史

5年で卒業できるように毎日本気で勉学に励む。

齋藤 智己

留まらないように頑張る。

寒河江 雅俊

健康に毎日を生活していく。

佐藤 拓弥

勉強に力を入れて充実した学校生活にしたい。

佐藤 優樹

勉強や部活、バンドを一生懸命頑張りたいです。

菅原 楽

科目が多くて大変です。でも、がんばります。

鈴木 仁成

みんなに、おいていかれないようにがんばりたい。

鈴木 錬

今年は学校の生活に慣れるように頑張る。

田口 貴之

明るく、毎日元気に生活していきたい。

月田 亘

部活と勉強に全力で取り組み、人間として成長!

成澤 良樹

自分の目標を持って、元気に生活したい。

成田 康孝

部活と勉強の両立をがんばりたい。

羽賀 大倫

割と楽しいです。通学疲れます。

長谷川 正太

5年後に卒業していること。

星川 遥

勉強と部活の両立で頑張りたい。

本間 充瑠

とにかく留年をしないようにがんばりたいです。

松浦 昭成

鶴岡高専の学生として頑張っていこうと思います。

三浦 光司

勉強にしっかりと励んでいきたいと思っています。

山口 望美

勉強も部活も力を入れて頑張ります。

山崎 加奈

勉強に力を入れ、充実した生活を送りたいです。

専攻科新入生 一人一言

機械電気システム工学専攻

安達 誠啓

本科と違い自分の専門的な分野以外の授業があり、今まで関わる事がなかったものに触れられてとても楽しい。勉強が難しくなったのでついていけるようにがんばりたい。

阿部 弘

本科で学んだ知識を専攻科で深め、社会に出たときに得た知識が生かせるように頑張って勉強していきたいと思います。

伊藤 孝浩

研究に集中するのにとても良い環境なので、これからの2年間で有効に利用して勉強や研究に打ち込みたいと思います。

太田 拓実

2年間を無駄にしないように頑張ります。

大滝 泰広

レポートや研究などで、本科よりも忙しい毎日です。自分が興味のある分野の勉強や、TOEICなどを頑張っていきたいです。

小林 尚弘

本科を卒業して早3年。3年間働いてきましたが、一念発起して専攻科に入学しました。多くの知識を身に付けたいです。人生リスタート!!

佐竹 博臣

2年間の専攻科生活を卒研や学業など本科では出来なかったことに挑戦して、将来のために役立てたいと思います。

佐藤 達三

専攻科に入って一番感じているのは自分の英語力のなさです。TOEIC400点の壁はやや高いです。けれど、乗り越えてみせます。

讃岐 光

専攻科に入学したという実感はなく、本科からそのまま進級したように感じています。レポートが多くて忙しいですが充実した日々を送っています。

清野 洋平

社会人生活と学生生活とのギャップに少し戸惑いもありますが、時間を無駄にせずスキルアップのため努力していきたいです。

近井 学

限りある学生生活を楽しみながらも、日々目標を持ち、この2年間で有意義に過ごしたいです。

那須 芳則

本科よりもゆとりがあり、研究に集中できる環境です。専攻科では幅広い知識を身につけることができるので、とても満足しています。

物質工学専攻

金城 佑

憧れの専攻科に入学する事ができたので専攻科研究を今まで以上に熱心に取り組み、自分の納得のいく研究結果を残したいと思います。

小鷹 浩一

専攻科の1年目として新しい気持ちで多くの事を体験・学習していきたい。また、自らの情性に負ける事無く、余裕を持って生活していきたい。

後藤 裕樹

専攻科研究を高い水準で完成させることを大前提に、資格取得やTOEICでのよりハイスコア獲得を目標として頑張ります。

斉藤 崇文

まず、TOEICで400点取る事を目標にし、2年間で心身ともに少しでも成長できるように頑張りたいと思います。

箕浦 大樹

結構自由がきくのが良い所ですかね(でもレポートと補講が多い...)。より一層、研究に熱い熱い情熱を注いでいきます!!

八木 祐介

専攻科に入学しての抱負は「勉強」をとにかく頑張りたい。資格、研究、授業など一日一日を大切に学校生活を有意義に過ごしたい。

編入生 一人一言

第4学年

五十嵐 陽一 (4M)

編入ということで、他の人たちより勉強や寮生活等、大変なことが多いですが、進級、卒業できる様に頑張りたいと思います。

大滝 恭平 (4M)

編入生は勉強についていくのが大変だと聞いていて、入学してから本当に大変だったので、ついていけるようにがんばりたいです。

半澤端 弥 (4M)

鶴岡工業高等学校から編入してきました、半澤端弥といいます。2年後には笑って卒業することを目標にがんばっていきます。

石井 康 浩 (4E)

今年は、学校生活、寮生活ともに規則性ある生活を営み、単位を落とさず、一年を健康に過ごせるよう努力していきたい。

齋 藤 翔 (4E)

高校の時より自由な生活ができています。しかし、その分、授業内容も深くスピードも速いのできついです。とにかく卒業を目指します。

本 間 浩 章 (4E)

私が高専から受けた印象は「広～い」でした。私の冒険家の血が騒ぐのを感じました。この熱い血をテストに注ぎこみます。

佐 藤 賢 司 (4I)

入学して初めて思ったことは、勉強が難しいと思った。習っていない事がたくさん出てきて大変ですが勉強を頑張りたいです。

菅 原 堅 太 (4I)

鶴高専は今までの学校より勉強の内容が難しく、勉強の時間自体も長く大変です。だからしっかりと自学自習を頑張り、卒業できればいいなと考えています。

阿 部 直 弥 (4B)

編入して思ったことは、まず時間割が異常だったことと、12時消灯の早さ。早すぎて宿題とつりあってない。カゼも流行ってるし。

村 上 元 矢 (4B)

パリーン。僕、もとなお。さわやか3組に編入して好きなコができました。だっておいしいんだもん! あすからがんばろう!

新留学生 一人一言

第3学年

ア リ (3M)

私の目標は人の役に立つ人間になることです。どの国で生まれても同じ人間です。世界のために、勉強以外に自分の心を良くするよう頑張りたい。

バ ヤ ラ (3I)

留学は私の強い希望なので、たくさん勉強し、専門の技術や知識をしっかりと身につけ、クラスの皆と楽しく学生生活を送りたいです。

オ キ (3B)

鶴岡高専に入ってから、本当の日本の学校の生活が分かった。日本の学校は大変ですが、せっかく日本に来たから将来大学院までいきたいと思っている。

AEDが設置されました

AED(自動体外式除細動器)が、昨年の秋から本校にも設置されています。

緊急の際には、躊躇することなく、御使用ください。

昨年の12月26日には、本校の教職員を対象にした講習会も行われました。

設置場所は、本校舎1階の総務課事務室前と学寮管理棟内の寮監室です。



AED講習会の様子



総務課事務室前



学寮寮監室

平成19年の 高専祭に向けての抱負

高専祭実行委員長 4M

本間 翔太



私は今年の高専祭に向けて抱負が3つあります。

それは、

- 1、本校の学生はもちろんのこと、高専祭にいらっしゃる一般の方々も楽しんでこのイベントに参加できるようにすること。
- 2、全ての学生が学年の枠を超えてみんなで協力でき、又それぞれの企画等で個性を生かすことができるようにすること。
- 3、去年の高専祭の反省を生かし去年を超えるような楽しい高専祭にすること。

この3つです。これらを実現するために具体的には次の事をしたいと思います。

最初に1つ目の抱負である「本校の学生はもちろんのこと、高専祭にいらっしゃる一般の方々も楽しんでこのイベントに参加できるようにすること。」については、学生の意欲的な参加のために、高専祭のテーマの部分から学生全体に意見を求め、自分たちが高専祭を創り上げ、自分たちが主役になるという意識を持たせることで、積極的に参加し、有意義な時間を過ごせるような高専祭にしたいです。つまり、実行委員が中心ではなく実行委員はあくまでもサポート役となりみんなで創る高専祭を目指したいと言う事です。そうすれば自然とみんなが楽しめるようになり、周りも楽しくなり一般の方々にも楽しんで頂けると思います。

次に2つ目の抱負である「全ての学生が学年の枠を超えてみんなで協力でき、又それぞれの企画等で個性を生かすことができるようにすること。」については、クラス企画や模擬店でクラスごとに協力し準備を進めることはもちろんのこと、全体での準備でも全ての学年で協力し合っただけで行っていきたくありません。そうすることで学年の枠を超えた協力が生まれとてもいい雰囲気の中で当日の高専祭に望めるからです。又音楽の分野が得意な人はライブ、人をまとめるのが得意な人は先に立ち進んで企画のリーダーなどを務めるなどして個性を生かせるようにしたいです。その他にも個性を生かせるような企画を用意したいと思います。

最後に3つ目の抱負である「去年の高専祭の反省を生かし去年を超えるような楽しい高専祭にすること。」については、良かった点を取り入れさらに発展させるのはもちろんのこと、うまくいかなかった点についても、なぜうまくいかなかったのか。どうすればうまくいくのか。などを考え改良しプラスとなる部分をどんどん取り入れていきたいと思っています。そうすることで去年の反省点を大いに活用し、

今年の高専祭に取り入れ、より良いものにし、去年を超えるような高専祭にしたいと思っています。

これらの3つの抱負を達成させることでみなさんの高専での思い出のなかに残るようなすばらしい高専祭にしたいと思っています。

学生会長あいさつ

平成19年度学生会会長 4I

長岡 亮



先日、ある後輩に“なんで学生会なんか頑張っているのですか?”と聞かれました。礼儀ないなと思いつつも、“なんでだろうと…”とあいまいに答えました。しかし、自分の中にはちゃんとした考えがありました。それは自分にとって学生会が‘価値’のあるものだからです。私は学生会役員としてこれまで1年間働かせてもらいました。役員として任を頂いたはじめの頃は、ただ何となく活動していただけでした。それこそ、その後輩と同じようなことを思っていたかもしれませんが、日を追うごとに多くの活動を通して、自分にとっての学生会の優先位置が変わってきました。いつの間にか、私にとって学生会は‘学生会なんか’ではなくなっていました。

そして、今年度、学生会長という立場になって1つの抱負もっています。それは、学生会を学生の皆さんにとって価値のあるものにする事です。最初から、価値のあるものはこの世のなかにはありません。お金だって、社会が形成されていなければ、ただの紙くず、あるいは金属であって、子供の銀行ごっこと大差ありません。私は、結果の伴わないことはやりません。つまり、‘結果が伴わない’、‘自分になんの利益も生み出さない’と判断した瞬間にその物事を切り捨てます。しかし、学生会、鶴岡高専は自分にとって非常に大事なものと判断しています。だから、今年度は去年以上にさまざまな努力をしていきます。周囲の意見に積極的に耳を傾け、問題を提起、解決、改善を行い、よい所はさらに精錬します。それによって、学生会が学生全員にとって価値のあるものにしていきます。その先にあるのが現在よりもよりよい鶴岡高専の姿であろうと思っています。

しかし、いくら私たち、学生会が頑張っても学生の皆さんの協力なくしては達成できません。自分たちは出来る限りの努力をしていくつもりです。結果が伴うのは来年、再来年、あるいはもっと先かも知れません。しかし、行動を伴わなければ何も起こりません。私たちは行動していくつもりです。皆様のご協力をどうかよろしくお願い致します。



「プルシアンブルー類似体を前駆体とする フェライト電磁波吸収薄膜の合成」

学生課技術室技術職員 矢作 友弘

鶴岡高专の皆様こんにちは。私が技術職員として高专に採用されて、あっという間に4年目になります。私の主な業務は学生実験や卒業研究の補助です。業務を通して学生のみなさんと共に学び、多くの経験をし、非常に楽しく充実した日々を過ごしています。

さて、題名にありますように私の科学研究費補助金採択と研究テーマについてご紹介させて頂きたいと思います。

私は業務の傍ら研究を少しずつ行っていました。しかし、研究を行う上で予算がないと言うのは不都合なことが多く、必要な物品は先生方から貸して頂きました。幸い使用する物品は化学系であれば良く使用するものなので、先生方のご好意に預かり十分に研究を行うことが出来ました。そんな中、技術職員でも応募できる科学研究費助成制度（奨励研究）があると知ったのは18年度分からでした。早速応募してはみたものの、結果は紙切れ1枚で不採択。それでも、4人に1人が当たる確率

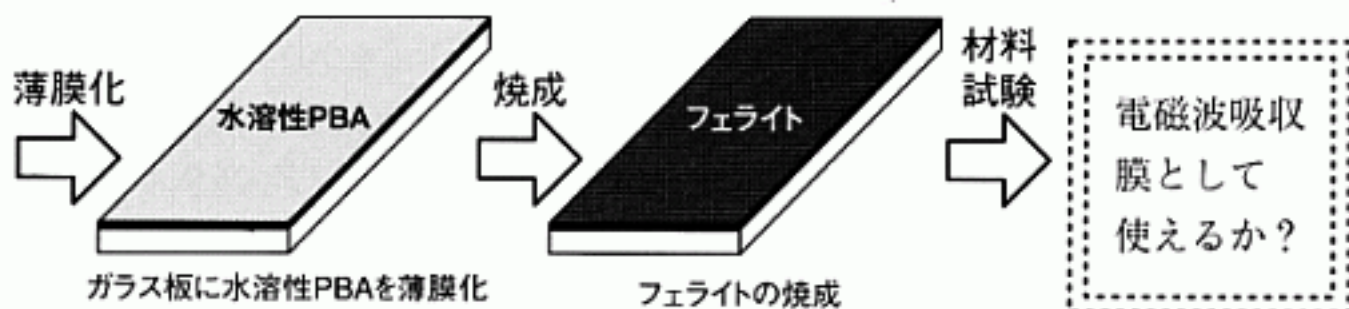
なので、もしかしたら今度はとの思いから19年度分もためもとで応募しました。これが思いもかけず採択されたのです。喜ぶ一方、大量の書類の詰まった採択通知を手にし、初めての採択にプレッシャーを感じている日々です。ともあれ、前進あるのみです。

ここで、採択された研究の内容を簡単に紹介させて頂きます（下図）。まず、水に溶ける配位高分子錯体化合物（水溶性PBA:水溶性プルシアンブルー類似体）を合成します。これを絵の具の様に使ってガラス板上に薄い膜を作成し、この膜を焼成してフェライト膜とします。この様な方法で作成したフェライト薄膜が電磁波吸収薄膜として利用できるかどうかを検討することが本研究の目的です。

採択された研究にはまだまだ勉強の至らない部分がありますが、発展性のある研究を目指して精一杯やらせて頂きます。今後とも、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



各種水溶性PBAを合成



研究概要図

山形県高等学校総合体育大会夏季大会 (6月1日～3日)での本校の結果

剣道男子学校対抗	ベスト14
バドミントン男子学校対抗	ベスト16
ソフトテニス男子学校対抗	ベスト16
卓球男子学校対抗	ベスト16
テニス男子学校対抗	ベスト16
バスケットボール男子学校対抗	1回戦
ラグビーフットボール男子学校対抗	1回戦
柔道男子学校対抗	1回戦
バレーボール男子学校対抗	1回戦
卓球男子ダブルス(高橋・木村)	ベスト8

平成19年度学級対抗校内体育大会(5月23日)の結果 総合成績

第1位……5E・5I	第3位……3E
バスケットボール	
第1位…5I	第2位…3I 第3位…1M・4M
ソフトバレーボール	
第1位…教職員	第2位…5B 第3位…3B・5M
卓球	
第1位…3E	第2位…2B 第3位…3M・4I
ソフトボール	
第1位…5E	第2位…1B 第3位…3M・4B

技術革新に流浪した30年

㈱高砂電子機器製作所
技術部長

阿部 信弘
(昭和54年 電気工学科卒業)



20歳に卒業して、もう30年になろうとしています。卒研で、A/Dコンバータでサンプリングしたアナログ波形をXYプロッタに出力するプログラムを作ったことを、とても懐かしく感じます。当時、プログラムを記録するメディアは、紙テープでした。プログラムをちょっと間違っただけで、紙テープに出力し、今思えば、大変な紙の無駄遣いでした。

さて就職した私達を待ち受けていたのは、紙テープでのプログラム開発ではなく、マイコンと言う素晴らしい且つ手ごわいICでした。レジスタって何?機械語って何?と会社帰りの居酒屋でも同僚や上司とCPUをつまみにどっぷりと浸かって行きました。

そんなある日、(居酒屋で一緒に飲んでいて)上司から、CPUを鉄道や道路で使用する監視制御システムに採用するから開発を頼む、と言われました。20種類位のICのデータシートと睨めっこしながら日夜悪戦苦闘の末、システムが完成しました。至福の時とは、こんな時を言うんだなあ最高の一瞬を過ごす事が出来ました。

その後も居酒屋では、CPUがつまみで、Z80から、16ビット、32ビット、RISCチップと技術の進歩と同時に30年間は、瞬く間に過ぎて行きました。

そんなCPUを組み込んだ弊社の電力回生型システム電源は、電気自動車や燃料電池車に搭載される電池やモーターインバータ等の開発時に研究者の方々の評価システムとして採用されています。ある時は、モーターの代わり、又ある時は、インバータの代わりと成り、シミュレーション型の電源システムとして、自動車関連業界を始め広くご利用頂いております。

今年も母校から後輩達が入社してきました。悔いを残させない、立派な技術者に育て上げたいと思っています。



高専の思い出と現在

㈱太陽機械製作所
山形工場 技術部 設計第2グループ長

佐藤 亨一
(昭和60年 機械工学科卒業)



仕事のことについて

私は高専卒業後、㈱太陽機械製作所に入社し、印刷機械の設計業務に従事しています。情報・文化の伝達手段として人類の発展に大きく貢献してきた印刷。顧客である印刷会社のニーズを満たした機械を提供する為、社員同士強い結束を持った会社です。

主として、オフセットフォーム印刷機、シールラベル印刷機をはじめ、航空券印刷機、点滴用チューブ印刷機、テレホンカード印刷機、宅配伝票印刷機、インクジェット印刷機等、多種多様に渡る印刷機を製造販売しています。近年、環境問題に対する意識が高まるにつれ、無溶剤のUVインキや水溶性インキを使用できるフレキソ印刷機が開発されています。すでに欧米ではこのフレキソ印刷機が大きな流れとなりました。日本においても、その需要が高まり、多様化に対応したフレキソ印刷機も生産しています。



学生生活の思い出

学生生活の思い出として、時々色々な事が頭に浮かびます。中学を卒業してすぐの全寮制での集団生活。先輩・友人から良いこと・悪いことを含め様々なことを学びました。山形県内各地はもちろん県外からも個性豊かな人材が集い、お互いが磨かれた時でもあったと思います。

私は在学中、水泳部に所属していました。苦しい練習や校舎に寝泊りしての強化合宿、そして東北大会で成果を出せた事など、楽しく思い出されます。今でもクラブのOB会を通じて先輩・後輩方と交流を持つことができます。

学生の皆様もクラブ活動に限らず、何か活動されてはいかがでしょうか?苦しいことも辛いことも、後では楽しい思い出として心に残ると思います。

ウィスコンシン大学に留学して

物質工学科助教 南 淳



高専機構在外研究員として、平成18年の3月から1年間、米国ウィスコンシン州のウィスコンシン大学マジソン校遺伝学部Vierstra研究室に留学してきました。

1. ウィスコンシン州マジソン

マジソンはシカゴの北西、車で3時間ほどかかる所にある人口20万人ほどの都市です。州都であり、街の中心に学生数4万人のウィスコンシン大学のある大学町です。都市の便利さと田舎の良さを併せ持ち、文化水準が高く、治安が良い街です。アジア系人口は5%ほどですが、日本人は1%未満でした。中国語や韓国語で話しかけられることもしばしばでした。北緯43度の内陸ですので、冬はかなり寒くなり、最低気温が -20°C を下回る日が一週間ほど続いたことがありました。 -20°C は「寒い」という感覚は通り越して、空気が「痛い。」という感じでした。ただし、吹雪になるようなことはなく、庄内の冬のほうがつらいかな?と思いました。

2. アメリカでの生活

今まで本校から留学に行かれた方は単身で生活しましたが、私は妻と息子(7歳と4歳)とともに渡米し、アパートを借り、車を買って暮らしました。長男は小学校に、次男は幼稚園のあと、小学校に入学しました(帰国後は幼稚園に逆戻りです)。週二回スイミングスクールに通わせ、長い夏休みはサマースクールに通わせました。二人とも驚くほどの順応力を示し、(日本以上に大変だった宿題の事以外では)不平も言わずに学校に通い続けました。アメリカの小学校を見る事ができたのは良い経験でした。

週末には市内や近郊に出かけたり、泊まりがけの旅行に出かけました。夏はグランドキャニオンとイエローストーン国立公園に行き、雄大な景色と野生生物を堪能しました。冬はニューヨークとワシントンに行きました。

アメリカはスポーツ大国でありエンターテイメントの国です。大学のアメリカンフットボールの試合が行われる球技場の収容人員は8万人ですが、ほぼ満員になります。アメフトも大リーグも3時間以上の試合時間の間、観客を楽しませるイベントが続きますし、独立記念日の花火大会のオープニングには大砲が打ち鳴らされ、戦闘機3機が飛んできました。



アメフトの開幕戦。矢印の先が通っていた学部の建物。

3. 英語は?

英語は苦手ではなかったですし、それなりに準備はしていましたが、やはりとても苦勞しました。研究室のミーティングで皆が話しあっていることが理解できませんので、研究室のスケジュールが把握できません。マクドナルドでハッピーセットを注文するのも大変でした。研究室では黙々と実験をしていますし、会話も「ピペットはどこ?」のような簡単なものばかりですので、英語の上達は期待できません。帰宅後、英会話教材を勉強したり、電子辞書片手に新聞や児童書を読むなど、涙ぐましい努力をしてきました。最終的には、電話でケーブルテレビの解約を申し込んだりするほどになりましたが、英語が上達した実感はありません。

4. ところで研究は?

授業も会議も無く、朝から晩まで、好きなだけ研究できる環境は夢のようでした。研究室のマネジメントもお金の事も気にしなくて良く、ほとんどの論文はすぐにダウンロードして読むことができ、判らないことは側にいる人に聞けば、答えてくれます(英語で)。研究テーマは「シロイヌナズナ・プロテアソームATPaseサブユニット遺伝子突然変異体の単離と表現型の解析」です。技術や知識を身に付けるのが第一の目的でしたが、期待以上の成果が上がりました。一流の雑誌に発表できるように、追加の実験を現在、日米で行っています。

離任しました



前庶務課長
中嶋 靖雄
(現宮城教育大学学生主幹)

平成14年10月に学生課長として茨城県の図書館情報大学(現筑波大学)から鶴岡高専に赴任しました。その後、庶務課長を命ぜられ、4年半の比較的長きに渡ってお世話になりました。本当にありがとうございました。

「去る者多くを語らず」ですが、初めて鶴岡駅に降り立ったとき、「思わず遠くに来たもんだ」を口ずさんだことを思い出しました。そして今転勤にあたり、めりはりのある四季を持ち、食文化を守り続ける、そんな庄内で暮らせたことに感謝します。ただ、心残りは、地元の皆さんともう少し親しい仲になれたらと、残念に思っています。

鶴岡高専が永久に不滅であること願い、皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。



前学生課長
加藤 博
(現岩手大学学務部入試課長)

平成16年4月から3年間学生課にお世話になり、大変有意義な仕事をすることができました。有り難うございました。振り返れば、管理職としても、高専という組織も、学務系の仕事についても初めての経験で、また大学とは明らかに違う雰囲気随分と戸惑いを感じたものでした。この3年間には色々なことがありましたが、とりわけ、「入試」と「JABEE」が大きな思い出として残っています。幾分か成果は残せたかなと安堵する一方、自分の非力に対する不満もあります。一番の心残りは、「認証評価」です。副委員長を拝命しながら「敵前逃亡」よろしく途中で鶴岡高専を去った訳ですから……でも、きっと近いうちに、ホームページに認証評価合格の記事が載ることでしょう。楽しみにしています。それでは、皆様方に幸多からんことを最後にお祈り申し上げます。



前学生課技術室
佐藤 良紀
(現一関工業高等専門学校総務課)

鶴岡を離れてから早くも二ヶ月が過ぎ、鶴岡での土地柄や風景をふと思い出すときがあり、通勤時に見える月山の雄大さは忘れられません。また、実験実習を共にした教官の方々や技術室をはじめ、学校関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

鶴岡では二年という短い間でしたが、自分自身、実験実習や課外活動を通してたくさんの学生と出会うことができ、とても嬉しく思っています。印象は元気のある学生が多く、挨拶もしっかりしていて、気持ちがスッキリしたのを覚えています。また学生一人一人自分なりの個性、考えを持って何かに取り組んでいる姿は、こちらも刺激を受け勉強させられました。その思いをこれからの糧として仕事面、生活面に活かし、頑張りたいと思います。最後に陰ながらではございますが、これからの鶴岡高専のご活躍を心より願っています。

着任しました



総務課課長補佐(財務担当)
福田 寿

天童からこの街へ再度の単身赴任です。30年余り勤務した山形大学からの転職でもあります。

前職では主に会計畑でしたが、近年は学務部で庶務(出張・勤怠・福利)、会計(予算・調達・物品)、施設(防災・営繕・美化)、学務(広報・後援会)を担当する部署にいました。

この4月に会計・施設を担当する職場に着任しましたが、何せ15年ぶりの鶴岡しかも初めての高専勤務ですので、毎日ハラハラ・ドキドキの連続です。

スローな対応になるかもしれませんが、まずは、「そもそも…」から学習しながら業務に精進したいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。



総務課総務係長
阿部 賢二

4月1日付けで総務課総務係長に赴任いたしました阿部と申します。今、本で行われた校内体育大会のソフトボール競技1回戦負け(ジャンケン負け)の悔しさを胸にペンを走らせております。

それはさておき、私、本校は疎か高専学校に関する予備知識や鶴岡の土地勘をあまり持たずして着任したため、現在、まわりの方々のサポートを得ながら、学生諸君と同様、日々勉強の毎日を送っております。一日でも早く職責を全うできるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



総務課財務係主任
三澤 健一

「おはようございます。」

4月からお世話になっています三澤と申します。早いもので1ヶ月が経ってしまいましたが、日々勉強の毎日です。

赴任して一番驚いたのが、「あいさつ」です。大学の職員として十数年色々な学部をまわり、事務を行ってききましたが、素晴らしいと思います。

当初は、学生さんからあいさつされて「俺にしてるの?」などと一回後ろを振り返るありさまで、あいさつが気持ち良いものだとしほりに感じました。

ご迷惑をお掛けするかもしれませんが、縁の下の力持ちになれるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。



総務課総務係
佐々木 愛

この度4月1日付けで鶴岡高専に新規採用されました。

学校での勤務は初めてのことで、まわりの皆様に温かくご指導いただきながら、一つひとつ学んでいく毎日です。庄内の広い空とやわらかな空気を感じ、爽やかな学生さんたちに囲まれて、日々新鮮な気持ちで仕事に取り組んでいます。

総務の仕事は学校の窓口としての役割もありますので、

一日も早く鶴岡高専に慣れ、皆様にご迷惑をおかけすることのないよう励んでいきたいと思っております。至らない点も多いことと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



総務課用度係
千葉 隆弘

今年度から新規採用で働かせて頂くことになりました。事務職は、初めての経験でして、悪戦苦闘の毎日を過ごしております。また、鶴岡にも初めて住まわせて頂くことになりました。

高専で働き始めて感じることは、生徒さん達が凄く礼儀正しく元気があるということです。本当に、気持ち良く仕事をさせて頂いております。そして、学校も自然に囲まれていて、環境もとても良いと感じている次第です。

微力ながら、鶴岡高専のために頑張りますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。



学生課技術室
一条 洋和

福島高専から編入した大学をこの春卒業し、4月からこちらで勤務することになりました。所変われど同じ

高専ということで、出身校とどこか似たような空気を感じています。学生を見ると自分の直接の後輩のような錯覚を覚える毎日です。

鶴岡はもとより、山形県に住むこと自体初体験です。鶴岡の冬はブリザードが吹き荒れる、ということに着任前から何度かお聞きしています。仕事と気候の年間サイクルを体で覚える、このことを今年1年の目標にしたいと考えています。

これから長い間お世話になると思います。精一杯頑張りますのでどうかよろしくお願いいたします。

これからの主な学校行事等

7月

- 東北高専体育大会7日～8日
- 宮城会場（バレーボール・ソフトテニス・柔道・硬式野球・サッカー・水泳・バドミントン）
- 八戸会場（陸上競技・バスケットボール・卓球・剣道・テニス・ハンドボール・ラグビーフットボール（10月開催））
- 専攻科入学試験（学力）10日
- 終業行事20日
- 1年～3年生保護者懇談会21日・22日
- 中学生一日体験入学28日
- 科学の祭典29日

8月

- 全国高専体育大会（四国地域）18日～26日
- 編入学試験（推薦）23日
- 始業行事27日

9月

- 期末試験20日～28日

10月

- ロボコン東北大会（宮城）13日・14日
- 鶴峰祭（高専祭）20日・21日

11月

- 工場見学旅行（4年生）6日～9日

12月

- 寮生体育大会11日
- 編入学試験（学力）19日
- 終業（1年～4年生）21日

1月

- 始業行事7日
- 入学試験（推薦）27日

2月

- 卒業試験（5年生）4日～8日
- 卒業研究発表会13日・14日
- 学年末試験（1～4年生）22日～29日
- 入学試験（学力）24日

3月

- 卒業式・修了式19日

学生相談室ってどんなところ？

平成19年5月発行 保健管理センター

一人ひとりが充実した学生生活を送るためにサポートするところです。

- ◎ どんな話でも聞いてくれます。
- ◎ 専門のカウンセラーと相談員がいます。
- ◎ 一人で悩んでいないで、いつでも相談に来てください。
- ◎ もちろん、話の内容については秘密を守ります。

たとえばこんな事・・・話してみませんか？

- ◎ 学習のこと（授業・成績など）
- ◎ 進路のこと（就職・進学など将来のこと）
- ◎ 学校生活のこと（友人関係・部活動のこと）
- ◎ 精神衛生上のこと（やる気がわからないなど）
- ◎ セクシャルハラスメント・アカデミーハラスメント
- ◎ その他、個人的な問題 などなど・・・

いつ、どこに行けばいいの？

.....学生相談室は保健室の隣です。.....

- ◎ 相談員との相談は、随時それぞれの教員室・事務室へ
- ◎ 看護師との相談は、随時保健室へ
- ◎ スクールカウンセラーとの相談は、学生相談室へ（予約が必要です。）
- ◎ 誰に相談すればいいか迷ったときは、看護師に確認してください。

相談の申込、予約は保健室まで。電話、メールでもOKです。

電話 (0235) 25-9030 (保健室) 平日 8:30～17:15

メール soudan@tsuruoka-nct.ac.jp

私たちが学生相談室員です！



スクールカウンセラー（臨床心理士）

加藤 早苗

毎週水曜日 15:30～17:30



学生相談室員

制御情報工学科

佐藤 義重

y-sato@tsuruoka-nct.ac.jp



学生相談室員

学生課 学生課長

土門 貞三

tanon@tsuruoka-nct.ac.jp



学生相談室員

物質工学科

瀬川 透

segawa@tsuruoka-nct.ac.jp



学生相談室員

総合科学科 英語

畑江 美佳

hatae@tsuruoka-nct.ac.jp



学生相談室員 査査

総合科学科 保健体育

本間 浩二

honma@tsuruoka-nct.ac.jp



相談室窓口（インターカー）

看護師

村山 智子

murayama@tsuruoka-nct.ac.jp

教職員・学生各位

『鶴岡高専だより No. 144』の掲載内容に係るお詫びと訂正

- ・ 13頁の新入生の集合写真の掲載において、制御情報工学科と物質工学科の写真が入れ違っておりましたので、お詫びして訂正いたします。

刊行物小委員会